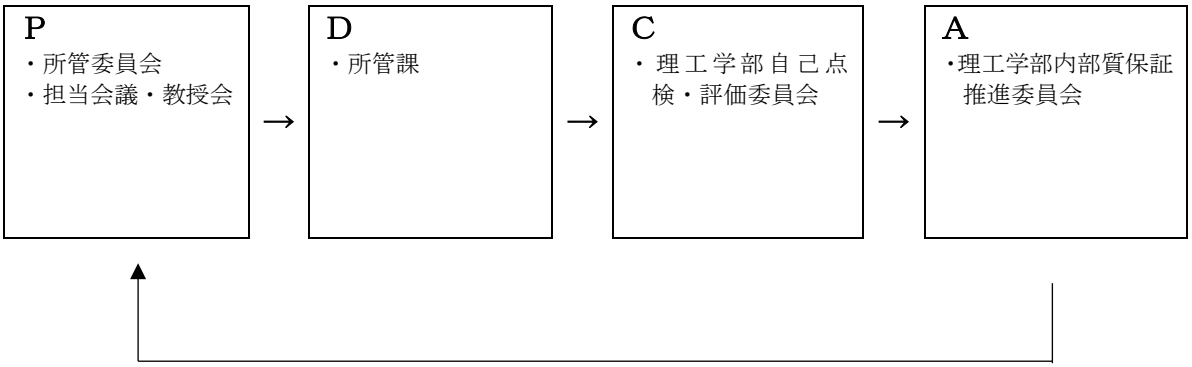
令和７年度全学自己点検・評価報告書

学部等名　　理工学部

基準２ 内部質保証

１　内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価し，改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名（例：教授会，自己点検・評価委員会，内部質保証推進委員会等）を明記してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目③

内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価を行い，改善・向上に向けた取組を行っていること。

＜評価の視点＞

・内部質保証システムの整備や機能の状況を定期的に点検・評価し，その結果に基づき，教育の質を保証する仕組みとしてより有効に機能できるよう改善・向上に取り組んでいるか。

⑪　学部等における内部質保証システムが有効に機能しているか，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

本学部では，理工学部自己点検・評価委員会（専門委員会含む）が関係部署（各委員会等）へ点検・評価の資料作成依頼を行い，取りまとめた点検・評価報告書等を理工学部内部質保証推進委員会へ報告を行い，本学部の課題等の抽出を行っている。課題として抽出された事項については，理工学部自己点検・評価委員会が関係部署へ改善計画の作成を指示し，改善に努めている。作成された改善計画は，担当会議（執行部会）において審議を行い，担当・主任会議及び教授会にて報告している。

また，本学部では，理工学部自己点検・評価委員会及び理工学部内部質保証推進委員会が中心となって教育活動に関する外部評価を実施しており，外部評価結果で意見等があった内容については，各部署において改善取組計画を作成し，理工学部内部質保証推進委員会で検証を行っている。理工学部内部質保証推進委員会で検証後，外部評価者へ改善取組状況の報告を行うとともに，併せて，教授会での報告，本学部ホームページへ掲載を行うこととしている。

自己点検・評価活動以外の取組としては，理工学部内部質保証推進委員会が理工学部情報統括委員会（ＩＲ委員会）の取組内容，ＳＤ研修会・ＦＤ研修会の開催結果等について報告を受

け，点検・評価を行っており，改善が必要な場合は改善指示を行っている。
　具体的な改善事例としては，大学評価（認証評価）等の指摘に基づき，学務委員会において「成績優秀者に対する履修登録単位数上限（キャップ制）の緩和」の検討を行い，令和９年度カリキュラム改正に向けた具体的な緩和条件の策定を進めている。また，教員組織においても，ＴＡ（ティーチング・アシスタント）の育成強化に向け，理工学部内部質保証推進委員会からの指示に基づき研修を制度化する等，点検・評価の結果を実効性のある制度改善へとつなげている。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

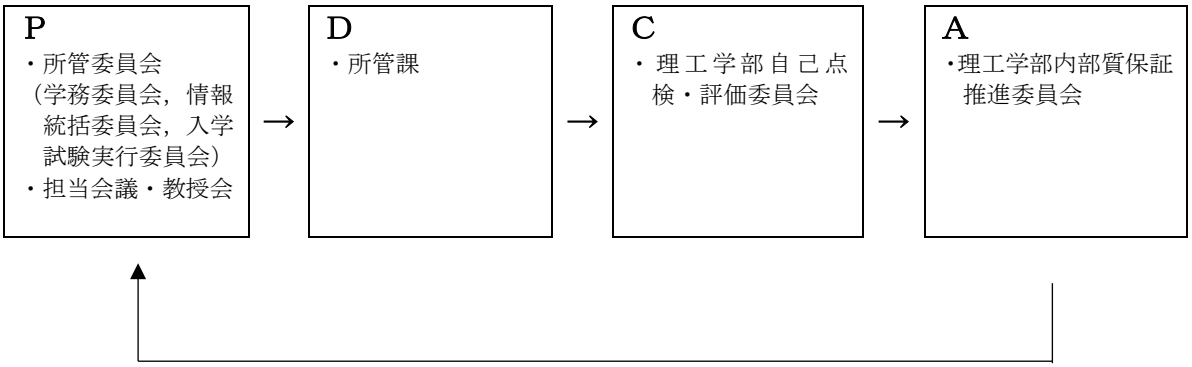
【提言（改善課題）】
　外部評価の結果に基づく改善取組の方針を各部署で検討しているものの，具体的な改善事例が明示されておらず，学部全体で成果を共有する仕組みが十分に機能していない。例えば，内部質保証推進委員会が主導し，外部評価に基づく改善実績を明確に示すとともに，その成果を学部全体に周知・共有するよう改善が求められる。

　教育活動に関する外部評価にて意見等があった内容については，各部署が改善取組計画を作成し，理工学部内部質保証推進委員会で検証を行っている。理工学部内部質保証推進委員会で検証後，外部評価者へ改善取組状況の報告を行うとともに，併せて，教授会での報告，本学部ホームページへ掲載を行うこととしている。令和６年度の外部評価結果に対する改善状況については，令和７年 12 月３日に外部評価協議会（意見交換会）を開催し，外部評価者へ報告を行った。今年度の外部評価結果を教授会にて報告後，同結果と併せて改善取組状況をホームページに掲載予定である。
　外部評価等による改善課題への対応については，理工学部内部質保証推進委員会が評価結果を検証し，改善に向けた方針を決定して各部署へ指示を行う。これを受けて，所管委員会・担当会議が具体的な改善取組計画を策定し，同計画に基づいて所管課が実務を遂行した結果を理工学部自己点検・評価委員会が点検・評価を実施し，同結果を理工学部内部質保証推進委員会へ行うこととしている。

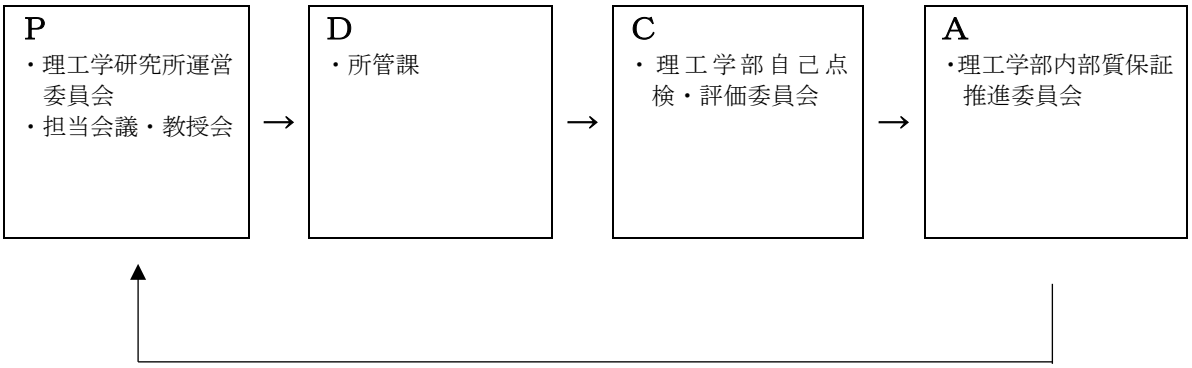
基準３ 教育研究組織

１　教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。

【学科の新設・改組等】



【研究所の新設・改組等】



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

・教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。

・点検・評価の結果を活用して，教育研究組織に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。

⑫　学問の動向や社会的要請等に対応すべく，学科や研究所の新設，学科の改組等，教育研究組織の見直しについて，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

学科組織の適切性については，学務委員会，理工学部情報統括委員会（ＩＲ委員会），執行部及び入学試験実行委員会が中心となり，カリキュラムの検討及び入学定員充足率・収容定員に対しての学生充足率等の学科定員管理から検討を行い，計画の立案を行っている。

研究所の新設・改組等は，理工学研究所運営委員会が中心となり，学部全体の研究力向上と外部への認知度向上等を目的として計画立案を行っており，令和７年度に研究支援体制の整備

と機能強化を図るため，分野間連携を含む共通の研究目的を持つ複数の研究者の単位にユニット名称を付して組織的に活動することを学部の公式な位置付けとして扱う仕組み（研究ユニット制度）を制定した。

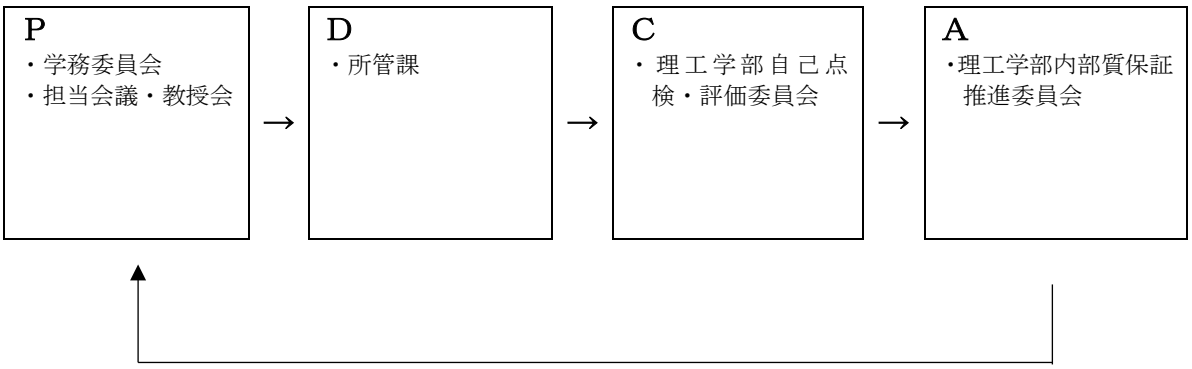
上述のとおり，学科組織及び研究所組織の適切性については，所管委員会等で計画の立案を行い，担当会議，担当・主任会議，教授会での報告・審議等を経て，所管課等で実施している。同取組等については，理工学部自己点検・評価委員会が中心に実施する自己点検・評価等を通じて検討・検証を行い，理工学部内部質保証推進委員会へ同結果の報告を経て，本学部の課題等を抽出している。抽出された課題等は，所管委員会等にフィードバックを行っている。

3　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準４ 教育・学習

１　教育課程及びその内容，教育方法について定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目⑥

教育課程及びその内容，教育方法について定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等を明確にしているか。**
- **課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況，資格試験の取得状況，進路状況等の情報を活用するなど，適切な情報に基づいているか。**
- **自己点検・評価の結果を活用し，教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。**

⑸　教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等について記述してください。

学務委員会が所管委員会となり，上記のＰＤＣＡサイクルで点検・評価を行っている。評価の基準は，日本大学教育憲章，各学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー），教育課程の実施・編成方針（カリキュラム・ポリシー）との整合性を主たる指標としている。また，大学評価（認証評価）等で指摘された「単位の実質化」や「履修登録単位数上限（キャップ制）の緩和条件」等の項目についても，重要な評価指標として設定している。

周期については，４年に１度のカリキュラム完成年度に合わせた大規模な検証（現在は令和２年度に導入したカリキュラムを検証）を実施し，次期カリキュラム編成（令和９年度予定）への反映を行うこととしている。

⑸　教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に当たり，自己点検・評価の結果をどのように活用しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

カリキュラムの見直しは，学務委員会が自己点検・評価結果等に基づき，資格取得に係る変更以外は，完成年度までの各学科等における検証結果を基に，日本大学教育憲章，主に教育課程の実施・編成方針（カリキュラム・ポリシー）及び学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）並びに（人材養成その他）教育研究上の目的を踏まえた検証を行う教育課程の改善・見直し内容の立案を行っている。現在は，特に令和６年度大学評価（認証評価）結果において改善課題

と指摘されている「成績優秀者に対する履修登録単位数の上限を緩和する条件」について，令和９年度カリキュラムに合わせて見直すよう検討をしており，単位の実質化について対応を行っている。

所管委員会にて計画の立案を行った内容については，担当会議，担当・主任会議，教授会での報告・審議等を経て，所管課等で実施している。同取組等については，理工学部自己点検・評価委員会が中心に実施する自己点検・評価及び教育活動に関する外部評価等を通じて検討・検証を行い，理工学部内部質保証推進委員会へ同結果の報告を経て，本学部の課題等を抽出している。抽出された課題等は，所管委員会等にフィードバックを行っている。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

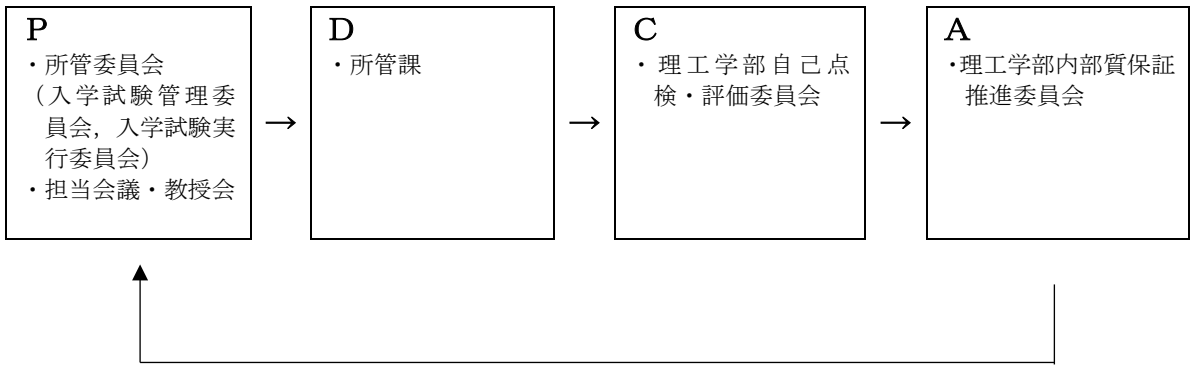
【提言（改善課題）】

学位授与方針とは別に学修・教育目標を設定しているが，両者の違いや関係性が学生に十分に分かりやすく説明されていないことが指摘されている。また，履修系統図が学修・教育目標にひも付けられている一方で，学位授与方針を含む三つの方針との関係性が不明瞭であり，学生への周知の在り方にも課題がある。さらに，緩和措置については条件を満たす学生の割合が高く，条件設定の適切性に問題があるとされている。くわえて，「総合演習」を卒業達成度評価科目と位置付けて記述試験による学習成果の把握を試みているものの，記述試験だけでは測定できない項目への対応が不十分であるとの指摘もある。これらはいずれも，内部質保証システムの点検・評価が十分に機能していないことを示すものであるため，例えば，理工学部内部質保証推進委員会が主導して，学位授与方針と学修・教育目標の関係性の明確化と周知方法の改善，履修系統図と方針の連動性の強化，緩和措置条件の妥当性の再検討，さらに，学習成果を多面的に把握できる評価方法の導入を進めるよう改善が求められる。

理工学部内部質保証推進委員会が主導となり，これまでの自己点検・評価等を通じて抽出した課題を学務委員会へフィードバックを行い，学務委員会が計画立案を行い，学位授与方針と学修・教育目標の関係性明確化，履修系統図との連動性強化，緩和措置条件の見直し，多面的な学修成果評価方法の導入を検討し，教育の質保証体制の改善を行う。

基準５ 学生の受け入れ

１　学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目③

学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

㊾　学生の受け入れに関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

入試実施に関わる業務を担う入学試験実行委員会において，入学試験結果報告書を作成している。また，入学者選抜の全般に関して検証を行い，各入試別の実施内容と改善内容について報告書の作成を行い，次年度に反映している。

適切な入学手続者数の確保については，同委員会で合格予定者の判定に関わる情報の処理作業を行い，合格者の手続率に関する詳細なデータの蓄積により，入学手続者の動向予測を行い，募集人員に対して適切な入学手続者数の確保を図っている。本予測方法の適切性及び公正性は，学部長・両校舎学部次長・事務局長により確認・承認され，入学試験判定委員会及び教授会（代表会議）で報告している。また，安定的な入学者確保のため，令和８年度以降の入学者選抜において新たな選抜方式を導入することを検討している。

志願者の募集については，広報委員会において，入試広報の在り方を協議し募集活動を行っている。

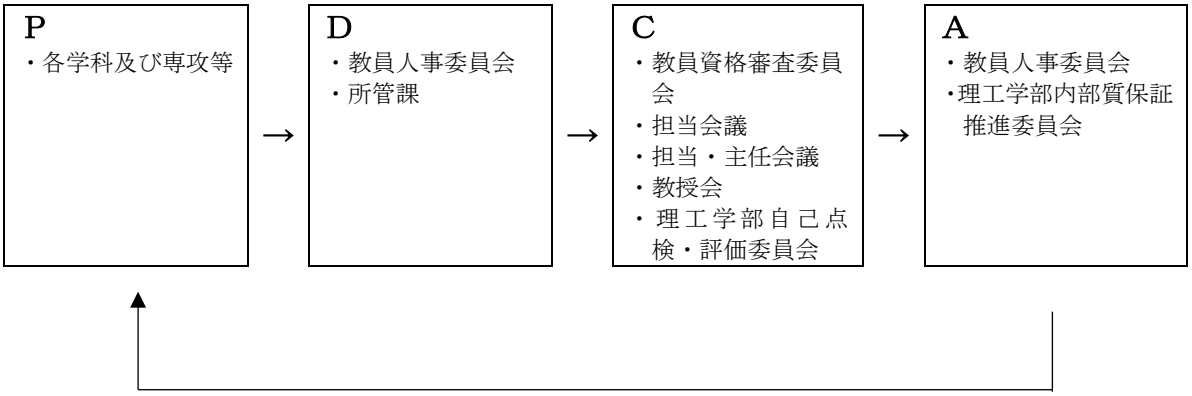
上述のとおり，学生の受け入れに関わる事項については，所管委員会等にて計画の立案を行い，担当会議，教授会での報告・審議等を経て，所管課等で実施している。同取組等については，理工学部自己点検・評価委員会が中心に実施する自己点検・評価，教育活動に関する外部評価等を通じて検討・検証を行い，理工学部内部質保証推進委員会へ同結果の報告を経て，本学部の課題等を抽出している。抽出された課題等は所管委員会等にフィードバックを行っている。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準６ 教員・教員組織

１　教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目④

教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，教員組織に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

㉘　教員組織に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

各学科等から提出された次年度の教員人事計画を毎年６月開催の教員人事委員会において，各学科等における教員の組織構成や資格ごとのバランス及び年齢構成を含めその可否を検討している。検討結果については，各学科等に通知され，必要に応じて面談を行うこととしている。この結果を基に，学科等は規程及び基準等に照らして採用活動の実施及び昇格者を検討し，教員資格審査委員会，担当会議，担当・主任会議及び教授会における審査を経るものとしている。

教員人事委員会では，学校教育法等に基づき定められた「教員配置計画に係る基本方針」及び「教員組織編成方針」を踏襲し，理工学部における中・長期にわたる教員組織・人事計画「教員配置計画」に関する事項を審議し，学科等における年齢構成や資格ごとのバランスを考慮している。また，教員資格審査委員会，担当会議，担当・主任会議及び教授会では，新規採用等の申請があった者について，教員規程等に定められた資格の確認及び審査を行うことで，公平性及び公正性を担保している。

同取組と並行して，理工学部自己点検・評価委員会が中心に実施する自己点検・評価等を通じて，大学設置基準に定める教員数の充足状況等から教員組織の適切性について検討・検証を行い，理工学部内部質保証推進委員会へ同結果の報告を経て，本学部の課題等を抽出している。抽出された課題等は所管委員会等にフィードバックを行っている。

3　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

【提言（改善課題）】

学科ごとに任されている運用のばらつきが，採用基準や選考過程の明確さ，透明性に差を生む可能性があるため，学部として共通の募集方針やガイドラインを整備・共有することが今後の課題であり，改善が求められる。

現状の対応は配布資料と専攻による個別説明にとどまっており，全学的・体系的な研修プログラムの有無や，継続的なフォローアップ（フィードバック，問題点の共有等）については記述が確認できず，ＴＡの授業補助力を更に高めるための取組としては課題であるため，改善が求められる。

学科等により取り扱う分野及び求める人材像等が異なることから，理工学部統一の教員評価基準「理工学部教員評価基準」を基に各学科等で評価基準を定めている。この評価基準については，教授会の審議を経て制定・改正することとしている。また，教員資格審査委員会及び教授会等において上記基準に沿って審査を実施していることから，採用基準及び審査の透明性は担保されているものと考える。今後，学科ごとの運用にばらつきが生じないよう，引き続き検証するものとする。

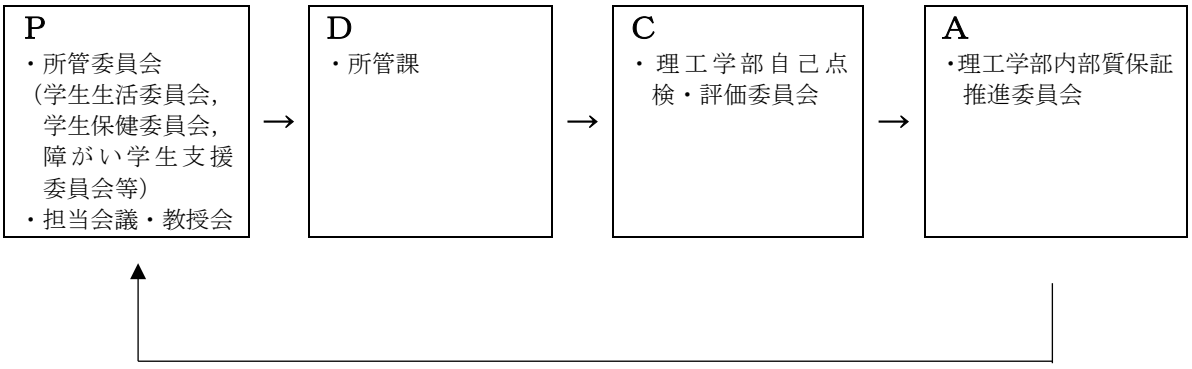
また，ＴＡに対する研修は，「日本大学理工学部ティーチング・アシスタントに関する内規」の改正を行い，次年度以降，研修を制度化する。体系的なプログラムと継続的フォローアップにより，ＴＡの授業補助力を組織的に向上させるよう取り組む。

両取組については，自己点検・評価等を通じて理工学部内部質保証推進委員会にて検証を行い，改善状況等の確認を行うこととする。

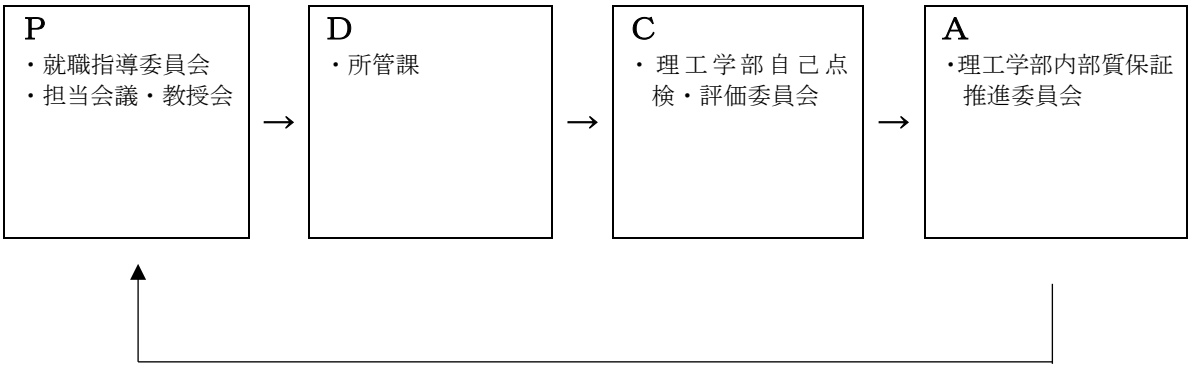
基準７ 学生支援

１　学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。

【学生生活関係】



【就職関係】



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，学生支援に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

㊽　学生支援に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

学生生活委員会においては，学生団体（サークル）の活動実績に応じ，昇格や降格，廃部，活動実績に応じた補助金支給額の審議を行っている。学部祭（桜理祭）の運営に当たっては，学生の実行委員会代表者と学生生活委員会による桜理祭協議会を校舎ごとに開催し，学部祭の企画内容の適切さや安全管理について確認し，審議の上，学生との協同に取り組んでいる。学部祭終了後には，同委員会においてその実施報告を精査し，所管課及び学部祭実行委員会とともに，次年度の取組への改善に活用している。学部祭終了後には，同委員会でその実施報告を精査し，所管課及び学部祭実行委員会と共に次年度の取組への改善に活用している。

学生保健委員会においては，学部内の学生傷害事故等調査委員会にて報告された実験中に発生した傷害事故における原因究明と対策案を審議検討して，対策案を学部内で共有し，実験装置の取扱い手順や方法の改善を図る等，学部内で改めての注意喚起を行う契機とし，再発事故の防止と更なる安全対策に向けての取組を行っている。毎年４月に実施する「日本大学メンタルヘルスチェック（K6)」においては，取得した結果に基づき，数値や分布傾向等を分析し，リスクが高いと思われる学生への対応については，面談での状況確認を経て，必要に応じて，カウンセリングや保健室との連携，合理的配慮の申請を行って円滑に学生生活が過ごせるよう取り組んでいる。本委員会で作成し，初年次教育授業において実施している「学生生活の安全・健康学」の講義においては，各学科にて実施された状況を確認して，受講後の理解度を測るための小テストの実施や講義を担当した教員へのアンケートを行い，委員会において次年度への改善内容等を検討し，次年度の編集時に反映している。

障がい学生支援委員会においては，決定した合理的配慮の実施状況を，支援対象者及び支援実施者と面談等を通してモニタリングを実施している。実施状況に問題がある場合や追加や削減の要望がある場合には，再度委員会に諮る等の対応を行い，適切な支援が実施できるよう体制を整えている。合理的配慮の提供に当たっては，各種研修や理工学部学生理解講座などの取組を行っているが，合理的配慮の提供内容や決定過程に不服等がある場合や万が一差別的な取扱いを受けてしまった場合に備えて，令和７年７月より学生支援室への相談，本部学生支援センターへの再相談，本部学生課への救済措置の申立て等の体制を整備している。

就職支援に関する年間計画等は就職指導委員会が中心となって策定し，学生の就職活動の動向や前年の支援実績，企業からのフィードバック等を踏まえ，ガイダンスや個別相談，求人開拓等の支援方針を定めている。具体的な支援活動の実施については就職指導課が担っており，就職支援計画の実行に当たっている。

上述のとおり，学生支援に関わる事項の適切性については，所管委員会で計画の立案を行い，担当会議，担当・主任会議及び教授会での報告・審議等を経て，所管課等で実施している。同取組等については，理工学部自己点検・評価委員会が中心に実施する自己点検・評価及び教育活動に関する外部評価等を通じて検討・検証を行い，理工学部内部質保証推進委員会へ同結果の報告を経て，本学部の課題等を抽出している。抽出された課題等は，所管委員会等にフィードバックを行っている。

これらにより，学生生活におけるより充実したサポート体制，就職活動の早期化に対応した低学年向けのキャリア形成支援プログラムを新たに開催する等効果的な取組につなげている。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

【提言（改善課題)】

駿河台校舎の学生支援室について，カウンセリング及び合理的配慮の支援希望件数が増加している状況下において，相談希望者が気楽に訪れることが難しい環境にあることは改善が求められる。

本学部駿河台校舎学生支援室は，面談ブースの数などは船橋キャンパスと同様であるが，理想としては相談に至らずとも少なからぬ不安を持つ学生が予約なしで，気軽に訪れるための空間的な環境構築（フリースペース，サロン等の設置）が有効であるが，都市型キャンパスの故に空間的な問題があるため，その設置が困難な状況となっている。

相談予約については，相談を希望する学生が予約するためのハードルを低減するため，学生

保健委員会，所管課においてWWeb フォームによる予約体制を構築している。予約は継続者が優先であり，時期によっては新規予約が困難な場合があることから，校舎間の所管委員会及び事務局，大学本部の学生生活委員会及び学生課との連携により対応しているが，駿河台・船橋の各校舎学生支援室間や重複するカウンセラーが在籍していることもあり，大学本部の学生支援センターを紹介する対応も行っている。

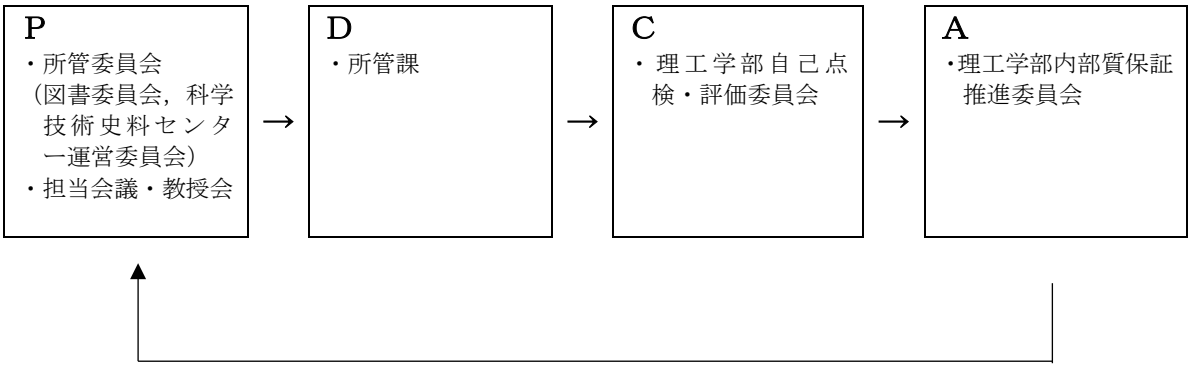
令和７年度から駿河台校舎では，所管委員会及び事務局で合理的配慮の申出に対して，学内及び学外の医療・福祉，行政機関とのコーディネーターとして，ソーシャルワークに関する有資格者（精神保健福祉士）を採用し，専門的知識と経験による質と効率の面でも改善を図り，多様な観点から，学生支援室を気軽に訪れ，抱えている悩みの早期解決に向けた契機となれるような環境を構築するよう改善を図っている。

本内容については，教育活動に関する外部評価においても外部評価者から「改善が期待される事項」として指摘を受けており，理工学部内部質保証推進委員会においても継続的に改善状況の検証を行う。

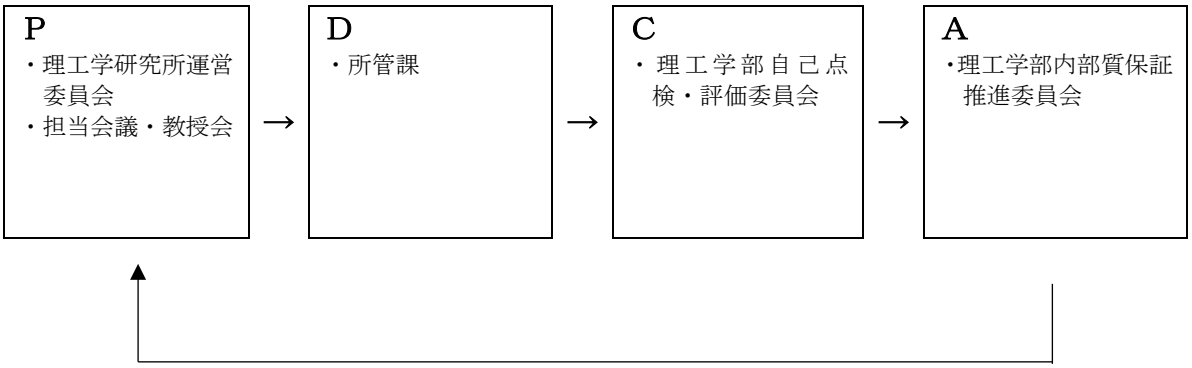
基準８ 教育研究等環境

１　研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。

【図書館】



【研究所】



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目④

教育研究等環境に関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，研究等環境に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

⑩　研究等環境に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

図書委員会では，図書館業務全般の報告のほか，図書館における諸課題への対応策の検討等を行い，その結果を基に図書館事務課が具体的な対応策を策定し，図書館利用の促進及び所蔵資料のアクセス促進を図っている。

科学技術史料センター運営委員会では，科学技術資料センターに関する報告のほか，特別展の企画，受贈・寄贈品受入の検討を行い，その結果を基に図書館事務課が具体的な対応策を策

定し，センター利用の促進及び史料の充実を図っている。
　理工学研究所運営委員会では，学部が実施する助成金等に競争的資金をより獲得していくことを目指す各種支援を行っている。また，理工学研究所長から，特に科学研究費助成事業への積極的な応募を学部内で促し，外部資金獲得のための説明会の実施・参加に取り組んでいる。これらの各取組の実施については，研究事務課が担っている。
　上述のとおり，教育研究等環境に関わる事項については，所管委員会で計画の立案を行い，担当会議，担当・主任会議及び教授会での報告・審議等を経て，所管課等で実施している。同取組等については，理工学部自己点検・評価委員会が中心に実施する自己点検・評価等を通じて検討・検証を行い，理工学部内部質保証推進委員会へ同結果の報告を経て，本学部の課題等を抽出している。抽出された課題等は，所管委員会等にフィードバックを行っている。

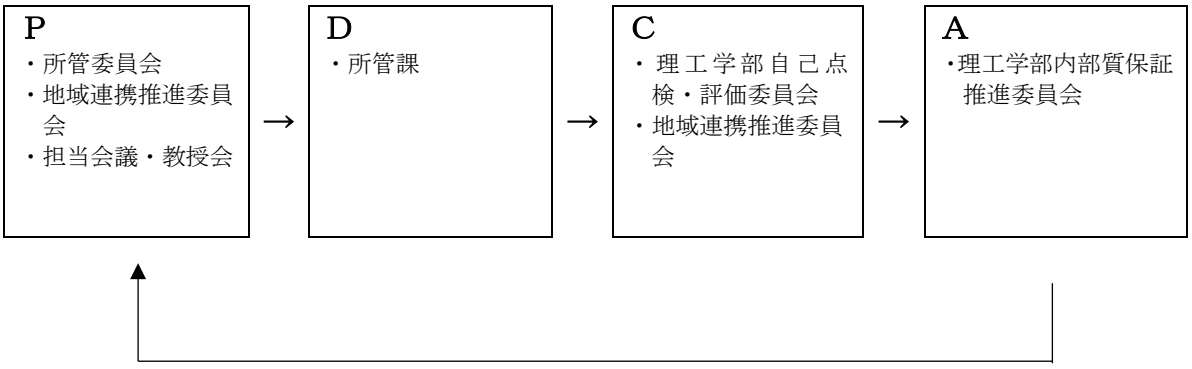
3　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

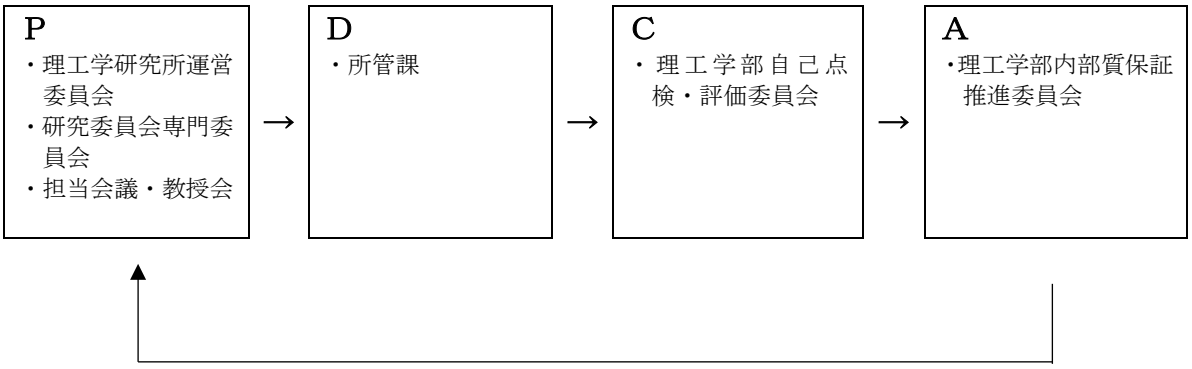
基準９ 社会連携・社会貢献

１　社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。

【公開講座等】



【研究関係】



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

社会連携・社会貢献活動の状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

・社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。

・点検・評価の結果を活用して，社会連携・社会貢献に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。

⑯　社会連携・社会貢献に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

公開講座等の社会連携・社会貢献を目的としたイベントは，地域連携推進委員会及び各イベントを所管する各委員会にてそれぞれの特色を生かして計画を立案し，担当会議，担当・主任会議及び教授会での報告・審議等を経て，所管課等で実施している。同取組等については，理工学部自己点検・評価委員会が中心に実施する自己点検・評価，教育活動に関する外部評価等

を通じて検討・検証を行い，同結果は理工学部内部質保証推進委員会へ報告を経て，本学部の課題等を抽出している。

なお，検討・検証の段階では，地域連携推進委員会においても各イベントの実施状況等の確認を行い，ホームページを通して学外に広く発信しており，本学部全体の地域連携活動全体の改善・向上につながるよう計画の立案にも寄与している。

また，理工学研究所では，令和４年度から主に企業を対象とした研究所公開イベントを実施しており，同イベントは社会連携・社会貢献として果たす効果と同様に受託・共同研究に結び付くことを期待して，関連委員会において計画を立案し，担当会議，担当・主任会議及び教授会で報告等を行い，研究事務課等で実施している。同取組等についても，理工学部自己点検・評価委員会が中心に実施する自己点検・評価，教育活動に関する外部評価等を通じて検討・検証を行い，理工学部内部質保証推進委員会へ報告を経て，本学部の課題等を抽出している。同イベントについては，外部評価結果において社会から意見交換等を通して研究課題をもらい，それをフィードバックする良いサイクルになっているとの評価を受けており，毎年実施している。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし